

第2次高岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画【改訂版】(案)についてのパブリックコメント実施結果

パブリックコメント(実施期間:令和5年2月1日(水)から令和5年2月28日(火)まで)でいただいたご意見に対する本市の考え方・計画への反映等につきましては、以下のとおりです。

No	ご意見の要旨	市の考え方・計画への反映等
1	10年前から見るとリサイクル率が下がってきており、目標達成が困難なように思える。何か取り組みを強化する必要があるのではないか。	ご指摘のとおり、本市のリサイクル率については、2011(H23)年は22.9%でしたが2021年(R3)年は20.6%となっています。この間、市の廃棄物として計上されないスーパー等での店頭回収やエコステーションでの回収量が増加していることが要因の一つとして考えられますが、目標達成のためには施策の推進を強化する必要があると考えています。 今回の改定では、リサイクル率向上に資する重点施策を見直し、プラスチックごみの一括回収や木質系廃棄物の資源化の早期実施、埋立処理している焼却残灰の資源化の検討を盛り込んでおり、これらをはじめとした施策を着実に推進していくことで、目標達成を目指してまいります。
2	フードドライブ等手付かず食品の再利用の取り組みは、国の「食品ロス削減推進法」や富山県の「食品ロス削減推進計画」などの趣旨にも合致し、方向性を一にするものということを明確にするため、改訂版2ページの「計画の位置づけ」にこれらを記載してはどうか。 あわせて、この計画を高岡市における食品ロス削減推進計画として取り扱い、表明しては。	ご指摘のとおり、本計画で重点施策としている手付かず食品の再利用の推進については国や県と方向性を一にするものであるため、2ページの「計画の位置づけ」の国の欄に「食品ロス削減推進法」を、富山県の欄に「富山県食品ロス削減推進計画」をそれぞれ追加します。 本計画を本市の食品ロス削減推進計画として取り扱ってはというご指摘については、食品ロス削減に係る目標値またはKPIの設定が必要と考えます。現状、食品ロスの実態に関して毎年把握できるデータを持ち合わせておらず、早期の当該計画策定に向けて実態把握の仕組みづくりを進めていきます。
3	食品ロスは、生産者、販売者、消費者すべてに不利益であるため、民間を巻き込んだ取り組みを更に進めてほしい。	本市では、平成30年度から市民団体の協力のもとフードドライブを定期的実施しており、昨年度からは市内のスーパーと共催で実施している。本計画では手付かず食品の再利用の推進を重点施策としており、フードドライブの実施をはじめとした食品ロス削減に向けた取り組みについて、協力事業者を増やしていきたいと考えています。
4	資源に乏しい日本では、資源の循環的利用の観点が必要であるため、民間を巻き込んだ循環利用の仕組みづくりに取り組んでほしい。	カーボンニュートラルの観点からも資源の循環利用は不可欠であると考えており、今回の改定において新たに「循環経済関連ビジネスの強化・創出」を取り組む施策に追加しております。 施策の推進にあたって、多くのステークホルダーを獲得し、強固な協働体制を構築することを目指します。
5	地震等の大規模災害だけでなく、小規模な災害で発生する廃棄物の仮置場についても検討してほしい。	本計画では「災害廃棄物処理計画」の推進を重点施策としており、仮置場候補地の選定・検討を進めていくこととしています。その際は、大規模災害だけでなく小規模な災害も含めて検討してまいりたいと思います。
6	楽しく環境美化に取り組めるようなSNS(ピリカなど)を活用するなど、環境美化活動の輪を更に広げてほしい。	本計画においてまちの環境美化への啓発・支援を重点施策としており、環境美化活動の活発化につながるよう、SNSを活用した環境美化活動の拡大に取り組んでまいります。
7	27ページの表の単位記載が抜けている。	追記します。
8	この計画を積極的に推進し、ぜひ循環型社会・都市を築いていただきたい。	本計画の基本理念である「もったいないの心で築く循環型都市・たかおか」の実現に向け、基本方針に基づく各種施策を積極的に推進してまいります。
9	本計画は、高岡のSDGs推進に寄与するものと考えことから、たかおかSDGsマークを本計画に掲載し、同じベクトルを持ちながら計画推進を図ってはどうか。	14ページ及び55ページにたかおかSDGsマークを追加します。